



郷土の花木を決めた森林審議会

でいご琉球松に決まる

沖縄を象徴する県花、県木

二十日午後三時から農林局長室で開かれた森林審議会(船越尚友会長)は県木、県花の選定を審議、政府の諮問案どおり県木に琉球松、県花にでいごを選び答申した。これで沖縄を象徴する花木はでいご琉球松に本決まりした。

郷土のシンボルとなる花木の選定は、緑化をおし進め、美しい環境づくりに役立てるのがねらい。県木は琉球松、ガシマル、フクギ、ヒロウ、アカギ、テリハボク

本土各都府県の県木の中には北海道のエゾマツ、岩手の南部アカマツ、群馬のクロマツ、福井のマツと松類が多い。防風、防火に役立つふくぎ、建設用材のテリハボクを選んでどうか、との意見もでたが、結局①郷土特有の木で

あること②沖縄全域に広く分布し、生育していること③風致観光および経済価値の高い木であることなどの選定基準に適合した琉球松を選んだ。いっぽう、県花はさきに沖縄アイムス社が緑化運動推進協議会と

タイアップして選定したでいごに決まった。こんどの郷土の花木の選定は琉球新報、沖縄タイムスの両新聞社が政府にかわって一般から募集、決定したのを森林審議会にはかり事後承認をえたかつこうとなつている。今後は、公式の場で県木、県花が使われるため、その図案を早く決めるよう政府に申し入れた。

- 両新聞社で扱った県木、県花の応募状況はつぎのとおり。
- 県木 応募総数千三百七十五票、①琉球松五百八十②ガシマル四百七十二③フクギ二百七十四④ヒロウ六十五⑤アカギ二十七⑥テリハボク十四
 - 県花 応募総数七万五千八百五十三票、①でいご六万六千二百五十二②フツウゲ四千二百七十六③テップウユリ千八百四十八④ユイナ五百五十二⑤ゲットウ三百七十二⑥サクラ三百四十八



県花「でいご」



県木「琉球松」